

名もなき仕事は、 Aーにはできない 仕事でした。

「名もなき仕事」が
再注目されている？
永石先生、教えてください。



「名もなき家事」をご存じですか？これは、ゴミ袋をセットする、調味料を補充するなど、家事の裏側にある細々としたタスクのことを言います。同様に職場にも「名もなき仕事」が存在します。コピー用紙を補充する、ゴミを拾う、休んだ人のサポートをするなど、小さくてもそれをしないと回らない大切な仕事は職場にも多くあります。そんな「名もなき仕事」のように、誰にも割り当てられない仕事を自ら進んで行うことを「組織市民行動[※]」と言い、かつて日本の職場には当たり前のように根付いていました。しかし、ジョブ型雇用やリモートワークの普及などで、このような仕事が放置されてしまう傾向にあり、近年、その重要性が再注目されています。組織市民行動と組織全体の業績には相関関係があることもわかっていきます。いつも誰かが「名もなき仕事」をしてくれるからこそ職場環境が快適になり、組織や事業全体がうまく回り、ビジネスの価値創出につながっていくのです。決められていない定型外の仕事を柔軟に行うことは、Aーやデジタルには代替できない、人間ならではのホスピタリティの高い仕事だと思います。

※「組織市民行動」(OCB: Organizational Citizenship Behavior)

経済学科
教授 永石 尚子



和光3分大学

オープンキャンパス	祝日授業体験	総合型選抜前期	学校推薦型選抜	
13:00 ▽ 16:00	10/5(土)	10/14(月・祝)	9/12(木)~ 出願受付	11/1(金)~ 出願受付

現代人間学部
表現学部
経済経営学部

小田急線鶴川駅から
徒歩約15分
<https://www.wako.ac.jp/>

ひとりを光らせる

和光大学